

藝大フィルハーモニア管弦楽団楽員（東京藝術大学音楽学部演奏講師）公募要項

1. 募集人員

バス・トロンボーン奏者 1名

2. 応募資格

- ◆プロフェッショナル・オーケストラの奏者としての演奏技能その他必要な能力を有する方
- ◆入団後、東京近郊に居住できる方

3. 選考方法、課題曲

【第1次選考】書類審査

※第1次選考の可否、および第2次選考のスケジュール等の詳細は、メールにて通知する。

【第2次選考】実演審査

- ◆日程 2025年6月30日（月）14時以降 受験者集合
- ◆会場 東京藝術大学 上野校地（東京都台東区上野公園12-8）音楽学部内
- ◆課題曲
 - （1）独奏曲（ピアノ伴奏付き）
Ferdinand David : Konzert für Bassposaune und Klavier B-Dur op.4（Zimmermann版）
第1楽章より 練習番号Aの4小節前から、練習番号Dの1拍目まで
*伴奏者は各自同伴のこと。
*時間の都合上、楽曲の途中で演奏を打ち切る場合がある。
 - （2）オーケストラ・スタディ
*第1次選考（書類審査）の合格者に、課題曲の楽譜を送付する。

※第2次選考の可否は、当日の審査終了後に口頭にて、または後日メールにて通知する。

※選考の結果、【第3次選考】オーケストラ内での演奏による審査を後日実施する場合がある。

4. 条件

- ◆職名 東京藝術大学音楽学部演奏講師（業務委嘱）
- ◆委嘱期間 2025年8月以降で本人と協議し調整する。
- *委嘱期間は、本人と大学双方合意の場合は、年度毎に更新する。（上限年齢は60歳）
- *初回の委嘱期間（※1）は6か月間（予定）とし、審査対象とする公演等での演奏に対して審査を行う。審査に合格し、本人と大学双方合意の場合は、契約を更新する。
- *第3次選考が行われる場合は、本人と大学側で協議の上、委嘱開始時期を遅らせる場合がある。
- ◆1時間あたりの委嘱料 本学規定による（※2）
- ◆委嘱時間数 年間、最大300～340時間程度（未定）
- ◆交通費 委嘱料とは別途にて、実費を支給（ただし、本学規定による）
- （※1）委嘱開始から6か月を迎えるより前に年度末を迎える場合は、初回と2回目を併せた委嘱期間
- （※2）【委嘱料の例】前年度末時点で、4年制大学卒業後の経過年数が8年6か月未満の者は、1時間あたり3,800円。前述の経過年数が8年6か月以上の者は、1時間あたり5,100円。
- （2024年度実績、当初6か月間も以後も同様。）

5. 応募方法、〆切

以下リンク先のフォームにて、必要事項を入力・送信すること。

<https://forms.gle/QUxQ6GaWDaWyeWM49>

〆切：2025年6月18日（水）午前10：00



<補足>

（↑応募フォーム）

（↑履歴書等）

- ◆このフォームに回答するには、Googleアカウントでのログインが必要です。

アカウントの作成方法については以下リンク先をご参照ください。

<https://www.google.com/intl/ja/account/about/>

- ◆フォーム内で、「履歴書」と「演奏活動歴」を添付していただきます。

いずれも、PC等で編集のうえPDF化したもの、または印刷してスキャンしたものを添付してください。

履歴書は、以下リンクまたは右上のQRコードから所定の様式をダウンロードしてご利用ください。

<https://drive.google.com/drive/folders/1xdnUG1SijgP1Ai3ap3q0a8iXXIVSUroM?usp=sharing>

演奏活動歴の様式は自由ですが、A4サイズ縦長で作成し、オーケストラ分野、室内楽分野における実績等を中心に記載してください。

ファイル名には氏名を含めてください。（例：履歴書_藝大太郎 演奏活動歴_藝大太郎）

6. 問合せ先

東京藝術大学 藝大フィルハーモニア管弦楽団事務局

e-mail : orchestra@ml.geidai.ac.jp

7. その他

- ・応募にかかる費用は、応募者の負担とします。
- ・提出書類は、選考事務のみで使用するとし、その他で使用することはありません。
- ・本学は敷地内全面禁煙です。

<楽団概要>

藝大フィルハーモニア管弦楽団（2016年秋、「藝大フィルハーモニア」から改称）は東京藝術大学に所属するプロフェッショナル・オーケストラで、定期演奏会のほか、声楽科との「合唱定期」、オペラ科との「オペラ定期」、音楽学部の「新卒業生紹介演奏会」、年末恒例の「チャリティーコンサート メサイア」（朝日新聞厚生文化事業団・朝日新聞社主催）、「台東第九公演」などを行っている。

教育面では、器楽科・声楽科学生との協奏曲等の共演および作曲科学生作品の作品披露を行っている「モーニング・コンサート」（年13回）や、指揮科学生との演奏会・試験・演習、東京藝大ジュニア・アカデミーの生徒との協奏曲の共演などを通して、学生の演奏経験の拡充に資している。

学外での活動も積極的に行っており、近年では、新国立劇場での「世界若手オペラ歌手ガラコンサート」や現代舞踊名作劇場（現代舞踊協会）の出演をはじめ、長崎県五島市、新潟県長岡市、新潟県魚沼市、秋田県秋田市でも公演を行い、いずれも好評を博した。

海外では、2017年6月のチリでの4公演（日本・チリ修好120周年記念）に続き、2023年12月には、世界三大劇場の一つであるアルゼンチンのコロロン劇場（Teatro Colón）からの招聘による公演で聴衆を魅了し、15分以上に及ぶスタンディングオベーションを受けた。（公社）日本オーケストラ連盟準会員。